

平成 29 年度多面的機能支払交付金事例研究会
テーマ別意見交換

【テーマ 2 多面的機能の発揮を通じた地域の活性化】

日時：平成 29 年 10 月 12 日

9：15～11：30

場所：国立オリンピック

記念青少年総合センター

(センター棟 311 会議室)

次 第

1 開 会

2 パネラー紹介

3 パネルディスカッション

(1) 環境保全の取組

(2) 防災への取組

(3) 施設整備の技術

(4) 合意形成、情報発信の工夫

4 意見交換

5 総括

6 閉 会

平成 29 年度多面的機能支払交付金事例研究会
テーマ別意見交換

【テーマ 2 多面的機能の発揮を通じた地域の活性化】

パネラー名簿

^{おおさき}
宮城県大崎市

^{ひろなが}
広長地域資源保全隊

^{たかとや} ^{ひとし}
高 埸 仁 氏
^{よしだ} ^{ちよし}
吉田 千代志 氏

^{かぬま}
栃木県鹿沼市

^{いたがばた} ^み
板荷畑いつくし美会

^{かめやま} ^{たかのり}
亀 山 貴 則 氏

^{おかやま}
岡山県岡山市

^{ほうだに}
母谷里山保全会

^{えみ} ^{きよひで}
江見 清 秀 氏

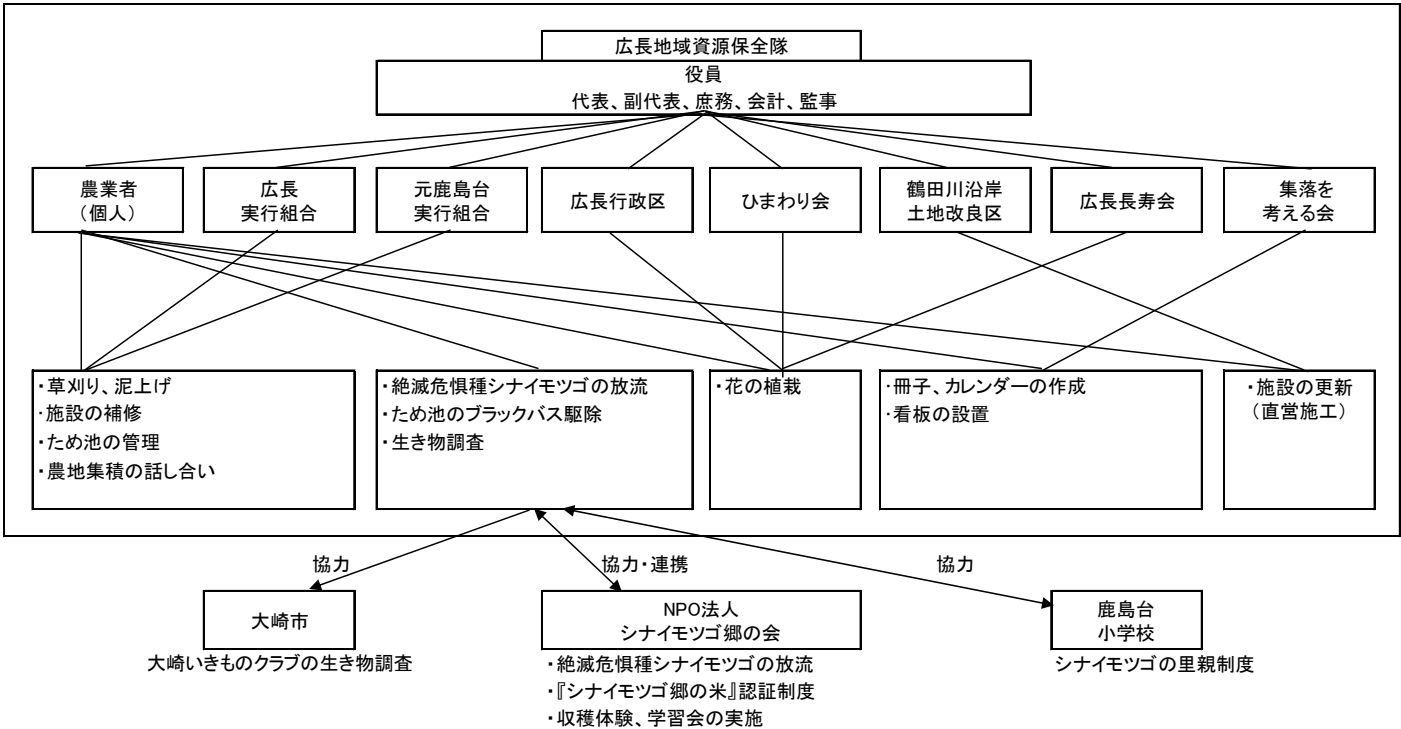
^{うさ}
大分県宇佐市

^{いわさき}
岩崎農地水環境保全組合

^{ながの} ^{よしのり}
長野 義 徳 氏

項目		説明内容
活動場所		宮城県大崎市広長・元鹿島台集落
対象農用地面積		全体 35. 5ha（田:35. 5ha）
対象施設		水路 9. 8km、農道 9. 1km、ため池 11箇所
交付金額		農地維持支払 106. 5万円、 資源向上支払（共同） 63. 9万円 資源向上支払（長寿命化） 96. 8万円
活動開始年度		平成19年度～
組織の構成員		農業者・・・農業者36名、農事組合法人0 非農業者・・・非農業者14名、自治会1、土地改良区1、その他団体（婦人会、長寿会、集落を考える会）
主な活動内容	農地維持活動	○農地法面の草刈り、水路の草刈り・泥上げ、ため池の草刈り・管理。 ○少子高齢化が進む中、担い手への農地の集積を進めると共に、大型草刈り機による保全管理の検討も進められている。
	資源向上活動（共同）	○生態系保全としてブラックバスの駆除活動。 ○絶滅危惧種『シナイモツゴ』の放流を通じ、地域住民との交流を図り、冊子、カレンダーを作成して情報を発信。『シナイモツゴ郷の米』の認証制度を作り、ブランド米としてPRしている。 ○景観形成としての植栽活動。
	資源向上活動（長寿命化）	土水路からコンクリート水路への更新を直営で施工

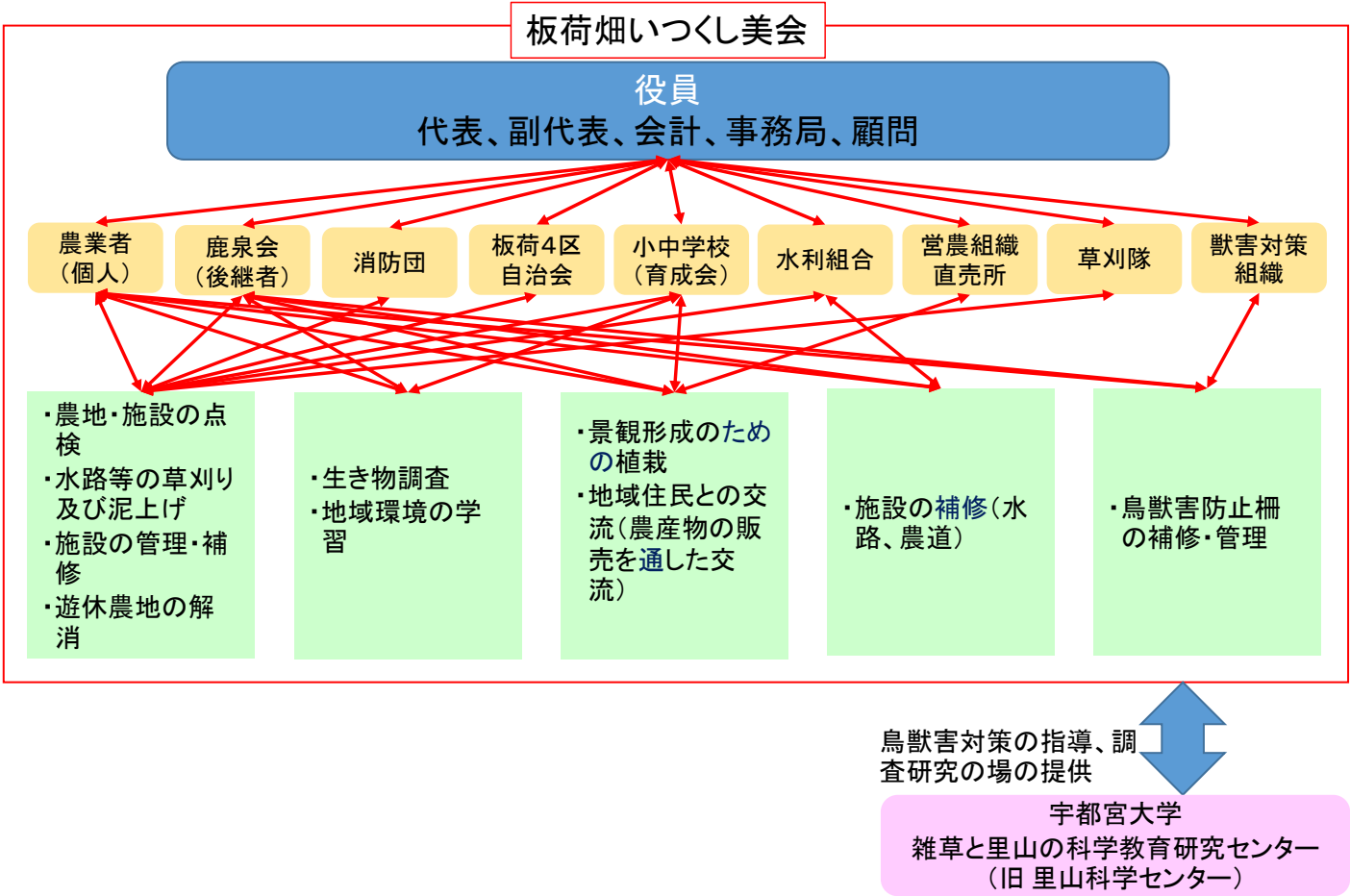
活動の体制図



※広長実行組合、元鹿島台実行組合：農家生産者の組合
集落を考える会：広長集落で行事を行う場合、中心となって企画・運営等を行う会
ひまわり会：広長集落の女性部会
※「協力」：市や小学校の事業（他の団体が主催する事業）に協力する。
「連携」：他の団体と協力し合って一緒に事業を行う。

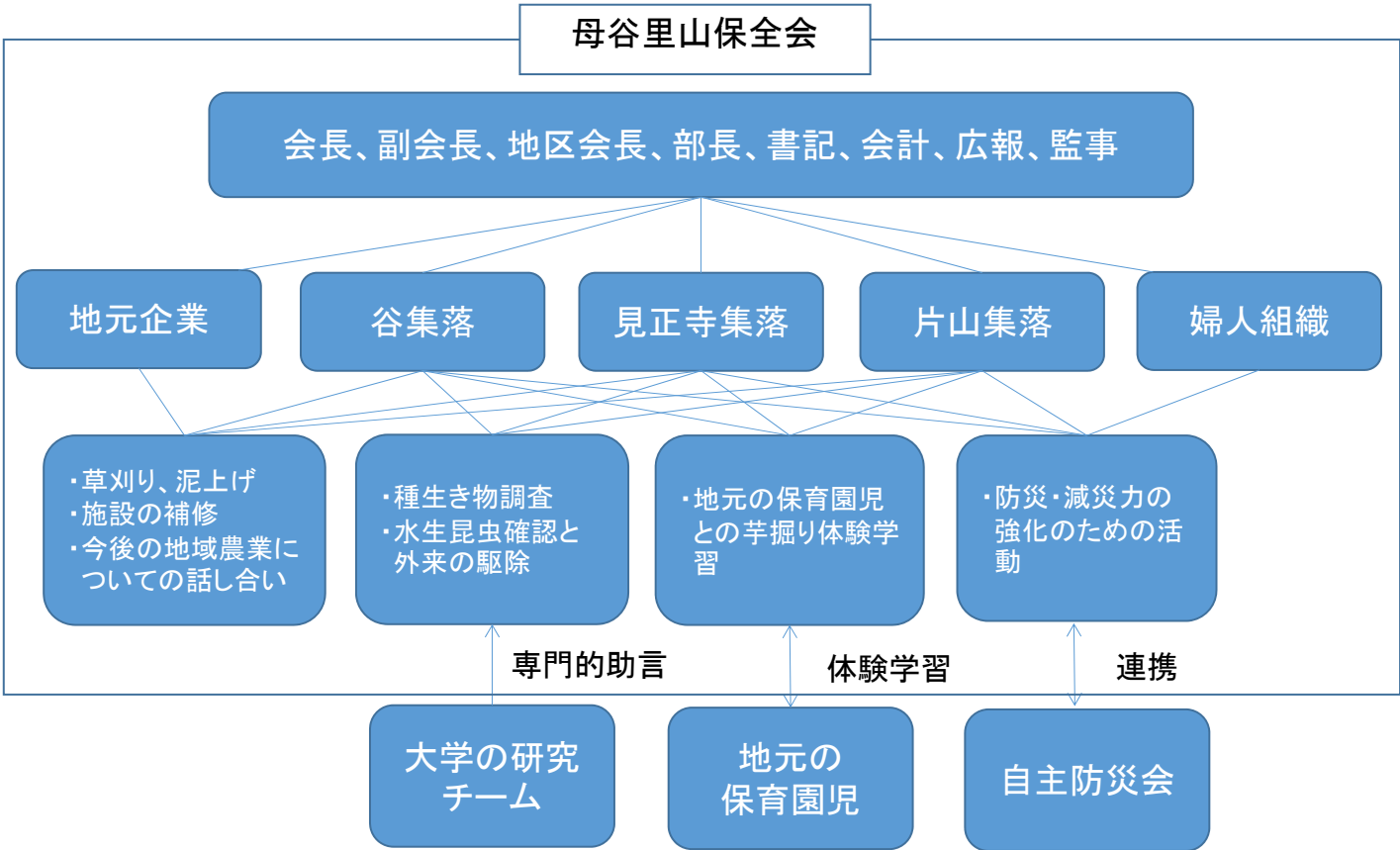
項目		説明内容	備考
活動場所		栃木県鹿沼市板荷畑集落	
対象農用地面積		全体 30.1ha（田:23.9ha、畑:6.2ha）	
対象施設		水路 5.8km、農道 1.5km	
交付金額		農地維持支払 84万円、資源向上支払（共同） 50万円 資源向上支払（長寿命化） 114万円	平成28年度
活動開始年度		平成20年度～	
組織の構成員		農業者・・・農業者56名 非農業者・・・非農業者131名、自治会4、小中学校	
主な活動内容	農地維持活動	○農地及び水路等の施設の点検 ○水路、取水口等の泥上げ ○水路及びその周辺部の草刈り ○異常気象後の施設の点検	
	資源向上活動（共同）	○生き物調査・地域環境の学習 ○鳥獣害防止策の適正管理（機能点検、周辺部の草刈り、補修） ○景観形成のための植栽（そば） ○地域住民との交流活動（そば祭りの開催）	
	資源向上活動（長寿命化）	水路、農道の補修	

活動の体制図



項目		説明内容
活動場所		岡山県岡山市母谷集落
対象農用地面積		全体 19ha（田:17ha、畑:2ha）
対象施設		水路 6km、農道 1km、ため池 2箇所
交付金額		農地維持支払 54万円、資源向上支払（共同） 43万円
活動開始年度		平成27年度～
組織の構成員		農業者・・・農業者32名 非農業者・・・非農業者59名（婦人組織、地元企業も含む）
主な活動内容	農地維持活動	○農地法面の草刈り、水路の泥上げ等。 ○推進活動としては、離農する小規模な農地の管理作業について、近隣の担い手が借り受けてもらえるよう、体制を構築している。
	資源向上活動（共同）	○生物の生態学を研究する大学チームと連携した生態系保全活動、生物の生息状況の把握、外来種駆除、植生を通じた在来生物の育成、希少種の監視 ○遊休農地で地元保育園と芋掘りの体験学習 ○新聞、インターネットを使った広報活動

活動の体制図



項目		説明内容
活動場所		大分県宇佐市岩崎集落
対象農用地面積		全体 47ha（田：47ha）
対象施設		水路 15km、農道 20km、ため池 1箇所
交付金額		農地維持支払 126万円 資源向上支払（共同） 101万円
活動開始年度		平成24年度～
組織の構成員		農業者・・・農業者20名、農事組合法人1 非農業者・・・非農業者11名、自治会1、子供会1 婦人会1、消防団1、宮世話1
主な活動内容	農地維持活動	①農地法面の草刈り、水路の泥上げ等 ②推進活動としては、農業者にて本地域の農地の将来像を見据え、農事組合法人へ集積案を出し合ったり、如何に遊休農地の対策を非農家と協力し活動するか検討。
	資源向上活動（共同）	①生態系保全 通水障害を引き起こしたり、水質悪化の懸念があるためオオフサモの駆除。 ②防災減災 本地域は二つの川に囲まれており、増水時は水害の恐れがあるため自主防災組織を確立し5ヶ年の戦略を作成。 ③学校教育との連携 麦の収穫体験、大豆の収穫体験、子供会の餅つき大会。

活動の体制図

